

国家試験過去問 分野別まとめ

消化器

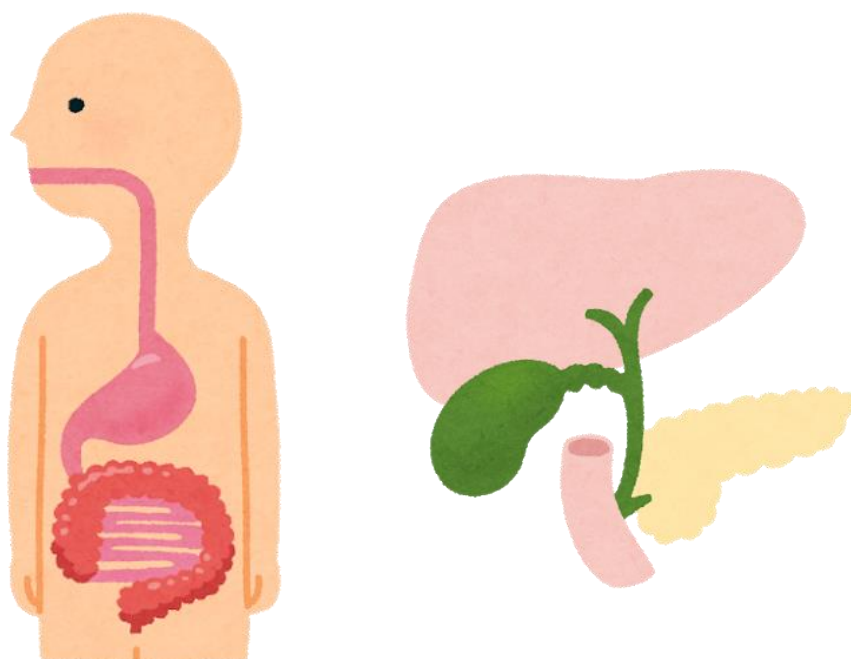
肝・胆・膵

(第何回目—問題番号—教科書の記載ページ)

解剖学、生理学、病理学

臨床医学総論、臨床医学各論(解説動画配信)

東洋医学臨床論



消化器

解剖学

【口腔】

1. 導管が口腔前庭に開口するのはどれか。
(5-21-P76)

- ①耳下腺
- ②舌下腺
- ③舌腺
- ④顎下腺

2. 口腔内器官で誤っている記述はどれか。
(12-22-P75、76)

- ①顎下腺管は口腔前庭に開口する。
- ②口腔粘膜上皮は重層偏平上皮である。
- ③小臼歯は乳臼歯に代わって生える。
- ④舌扁桃は分界溝の後方にある。

3. 唾液腺について誤っている記述はどれか。
(16-22-P138)

- ①耳下腺は顔面神経に貫かれる。
- ②耳下腺管は口腔前庭に開口する。
- ③舌下腺管は口腔底に開口する。
- ④顎下腺の分泌には舌咽神経が関与する。

4. 固有口腔に存在するのはどれか。(26-21-P72)

- ①口唇
- ②耳下腺
- ③歯肉
- ④舌骨

5. 舌について誤っている記述はどれか。
(11-22-P315)

- ①糸状乳頭の上皮は角化する。
- ②舌根は咽頭の前壁の一部である。
- ③内舌筋の支配神経は舌咽神経である。
- ④舌扁桃は分界溝より後方にある。

6. 舌の分界溝の前に一列に並ぶのはどれか。
(14-21-P73)

- ①糸状乳頭
- ②茸状乳頭
- ③有郭乳頭
- ④葉状乳頭

7. 舌の分界溝前に一列に並ぶのはどれか。
(28-21-P73)

- ①糸状乳頭
- ②茸状乳頭
- ③有郭乳頭
- ④葉状乳頭

1 ①、2 ①、3 ④、4 ③、5 ③、6 ③、7 ③

【食道】

1. 食道について正しいのはどれか。
(27-22-P77)

- ①第3頸椎の高さで始まる。
- ②気管分岐部の高さで狭窄している。
- ③気管の前を通る。
- ④成人では長さ約15cmである。

1 ②

【胃】

1. 胃について正しい記述はどれか。(4-22-P77)

- ①胃体の上方への膨大部を胃底という。
- ②大弯から小網が垂れ下がる。
- ③噴門には発達した弁がある。
- ④胃体部粘膜には輪状ヒダがある。

2. 胃について正しい記述はどれか。(14-22-P77)

- ①ガストリン分泌細胞は噴門に分布する。
- ②角切痕は小弯の一部にみられる。
- ③胃底の主細胞は塩酸を分泌する。
- ④幽門は第11胸椎の高さにある。

1 ①、2 ②

【小腸】

1. パイエル板（集合リンパ小節）があるのはどれか。(1-21-P81)

- ①胃
- ②十二指腸
- ③回腸
- ④虫垂

2. 小腸について正しい記述はどれか。
(3-20-P81)

- ①十二指腸の長さは約12cmである。
- ②総胆管が空腸に開口する。
- ③集合リンパ節（パイエル板）は回腸下部に多い。
- ④虫垂は小腸に属する。

3. 腸管とその構造との組合せで正しいのはどれか。(6-20-P80)

- ①十二指腸——腸間膜
- ②空腸——腸腺
- ③回腸——腹膜垂
- ④横行結腸——腸絨毛

4. 小腸にみられないのはどれか。(8-22-P80)

- ①腸絨毛
- ②腹膜垂
- ③孤立リンパ小節
- ④輪状ヒダ

5. 十二指腸について誤っているのはどれか。
(10-23-P79)

- ①臍頭をC字状に囲む。
- ②回腸に移行する。
- ③下行部に総胆管が開く。
- ④腹膜後器官である。

消化器

6. 小腸について誤っている記述はどれか。
(13-20-P80)

- ①空腸は腸間膜をもつ。
- ②粘膜に半月ヒダがある。
- ③腸腺は絨毛の根元に開口する。
- ④二層の筋層からなる。

7. 小腸について正しいのはどれか。(24-24-P81)

- ①粘膜上皮は多列円柱上皮である。
- ②粘膜固有層にパイエル板がある。
- ③全長にわたって腸間膜がある。
- ④表面に腹膜垂がある。

1 ③、2 ③、3 ②、4 ②、5 ②、6 ②、7 ②

【大腸】

1. 間膜を持たない消化器はどれか。(2-21-P88)

- ①空腸
- ②直腸
- ③胃
- ④肝臓

2. 虫垂について正しい記述はどれか。
(7-22-P82)

- ①リンパ小節が多い。
- ②腸絨毛が発達している。
- ③筋層を有しない。
- ④腸腺を有しない。

3. 大腸について正しい記述はどれか。
(9-26-P82)

- ①小腸と同じ長さである。
- ②輪状ヒダがある。
- ③直腸は腸間膜をもつ。
- ④盲腸から虫垂が突出する。

4. 消化管で腹膜垂がみられるのはどれか。
(19-22-P82)

- ①十二指腸
- ②回腸
- ③横行結腸
- ④直腸

5. 上行結腸について正しいのはどれか。
(23-22-P82)

- ①肝臓の方形葉下面に接する。
- ②脾臓に接する。
- ③右結腸動脈が分布する。
- ④輪状ヒダを持つ。

1 ②、2 ①、3 ④、4 ③、5 ③

【胆】

1. 胆汁の流路で誤っている記述はどれか。
(6-21-P86)

- ①肝管は肝門を通る。
- ②肝管と胆嚢管とが合流して総胆管となる。
- ③総胆管は胃の前を通る。
- ④総胆管は十二指腸に開口する。

2. 胆汁の流れが一方向でないのはどれか。
(12-23-P86)

- ①小葉間胆管
- ②肝管
- ③胆嚢管
- ④総胆管

1 ③、2 ③

【肝】

1. 正しいのはどれか。(1-20-P84)

- ①胆汁は胆嚢で産生される。
- ②グリソン鞘には動脈・静脈・胆管の三つ組がみられる。
- ③脾管は胆管と合流し大十二指腸乳頭に開口する。
- ④肝静脈は上大静脈に開口する。

2. 肝臓について正しい記述はどれか。
(3-21-P84)

- ①全面を腹膜で包まれる。
- ②右葉と左葉とは同じ大きさである。
- ③栄養血管は門脈である。
- ④肝静脈は直接下大静脈に注ぐ。

3. 肝臓の血管系について正しい記述はどれか。
(4-23-P84)

- ①門脈には動脈血が流れる。
- ②洞様毛細血管（類洞）は中心静脈に注ぐ。
- ③中心静脈は小葉間静脈に注ぐ。
- ④肝静脈は肝門を通る。

4. 正しい記述はどれか。(10-22-P84)

- ①大腸には内腔に輪状ヒダがある。
- ②腹膜垂は小腸にみられる。
- ③門脈は肝門に入る。
- ④胃の角切痕は大弯にある。

5. 肝臓について正しい記述はどれか。
(16-21-P53)

- ①肝静脈は肝門から出る。
- ②肝鎌状間膜は方形葉の右側に位置する。
- ③胎生期の静脈管は臍静脈血を下大静脈に導く。
- ④中心静脈は小葉間静脈へ注ぐ。

消化器

6. ディッセル腔にみられるのはどれか。
(21-23-P84)

- ①クッパー星細胞
- ②ビタミン A 貯蔵細胞
- ③赤血球
- ④胆汁

7. 肝臓について正しいのはどれか。(27-23-P84)

- ①実質はグリソン鞘により肝小葉に分けられる。
- ②肝鎌状間膜は方形葉と尾状葉の間にある。
- ③右葉よりも左葉の方が大きい。
- ④肝静脈は肝門を通る。

1 ②、2 ④、3 ②、4 ③、5 ③、6 ②、7 ①

【腹膜】

1. 腹膜を形成する上皮で正しいのはどれか。
(22-15-P10、87)

- ①移行上皮
- ②円柱上皮
- ③線毛上皮
- ④扁平上皮

1 ④

【脾臓】

1. 脾臓について誤っている記述はどれか。
(7-23-P87)

- ①脾管は十二指腸に開口する。
- ②脾臓全体が腹膜に覆われる。
- ③外分泌部は消化酵素を分泌する。
- ④脾島はホルモンを分泌する。

2. 脾臓について正しい記述はどれか。
(13-21-P87)

- ①後腹膜器官である。
- ②脾尾は十二指腸に付着する。
- ③肝臓の下面に隣接する。
- ④脾管は幽門に開口する。

3. 脾臓について誤っている記述はどれか。
(15-21-P114)

- ①内分泌腺の脾島は頭部に多い。
- ②腹膜後器官である。
- ③脾動脈の枝が分布する。
- ④脾管は脾臓の中を通る。

4. 脾臓について正しい記述はどれか。
(20-23-P114、87)

- ①第 4・第 5 腰椎の高さにある。
- ②後腹壁に付着している。
- ③左端は十二指腸に接している。
- ④脾液はランゲルハンス島から分泌される。

5. 腹膜後臓器はどれか。(25-21-P87)

- ①S 状結腸
- ②回腸
- ③肝臓
- ④脾臓

1 ②、2 ①、3 ①、4 ②、5 ④

生理学

1. 消化管ホルモンが消化液分泌に及ぼす作用で正しいのはどれか。(1-38-P81)

- ①ガストリンは胃液分泌を抑制する。
- ②コレシストキニンは膵液分泌を抑制する。
- ③セクレチンは膵液分泌を促進する。
- ④ソマトスタチンは胃液分泌を促進する。

2. 小腸粘膜で吸収される物質はどれか。(2-39-P69)

- ①でんぷん
- ②麦芽糖
- ③ブドウ糖
- ④蔗糖

3. ペプシノーゲンを分泌する胃腺の細胞はどれか。(3-38-P78)

- ①主細胞
- ②副細胞（粘液細胞）
- ③内分泌細胞
- ④壁細胞（傍細胞）

4. 胆汁酸の作用はどれか。(3-39-P82)

- ①糖質分解
- ②脂肪乳化
- ③ビリルビン生成
- ④タンパク質分解

5. 胃液の分泌を促進する消化管ホルモンはどれか。(4-39-P79)

- ①コレシストキニン
- ②セクレチン
- ③ガストリン
- ④ソマトスタチン

6. 小腸での吸収に適した構造はどれか。(4-40-P85)

- ①絨毛
- ②十二指腸腺
- ③腸腺
- ④回盲弁

7. 胃液の塩酸で活性化される消化酵素はどれか。(6-40-P79)

- ①ペプシノーゲン
- ②トリプシノーゲン
- ③キモトリプシノーゲン
- ④ヌクレアーゼ

8. 消化管からの吸収の仕組みで誤っているのはどれか。(7-40-P84.85)

- ①拡散
- ②能動輸送
- ③受動輸送
- ④ろ過

9. 胆汁について誤っている記述はどれか。(8-39-P81)

- ①消化酵素を含む。
- ②胆汁酸を含む。
- ③胆汁色素はビリルビンである。
- ④十二指腸に排出される。

10. 消化管ホルモンについて正しい記述はどれか。(9-38-P82)

- ①セクレチンは膵液分泌を抑制する。
- ②ガストリンは胃液分泌を抑制する。
- ③コレシストキニンは胆嚢を収縮する。
- ④ソマトスタチンは胃液分泌を促進する。

消化器

11. 大腸について正しい記述はどれか。
(10-38-P75)

- ①水分の約95%が吸収される。
- ②盲腸から上行結腸にかけて逆蠕動が起こる。
- ③蠕動運動は交感神経によって促進される。
- ④大腸液は消化酵素を含む。

12. 副交感神経性唾液分泌について誤っている記述はどれか。(11-36-P77)

- ①漿液性唾液が分泌される。
- ②耳下腺は分泌器官の1つである。
- ③分泌中枢は視床下部にある。
- ④条件反射によって分泌亢進が起こる。

13. 肝臓の働きについて誤っているのはどれか。
(11-37-P88)

- ①アルブミンの合成
- ②ガンマグロブリンの合成
- ③胆汁の生成
- ④コレステロールの生成

14. 胃液分泌を促進するのはどれか。(12-39-P80)

- ①交感神経活動の増加
- ②セクレチン分泌の増加
- ③食物による胃壁の伸展刺激
- ④酸による十二指腸粘膜の刺激

15. 胃液分泌を抑制するのはどれか。(13-39-P79)

- ①食塊による胃壁の伸展
- ②迷走神経の活動亢進
- ③ガストリンの分泌
- ④セクレチンの分泌

16. 消化管で受動的に吸収されるのはどれか。
(13-40-P86)

- ①水
- ②カルシウムイオン
- ③ブドウ糖
- ④ナトリウムイオン

17. 胆汁について誤っている記述はどれか。
(14-37-P82)

- ①肝臓で産生される
- ②分泌は迷走神経によって調節される
- ③脂肪の消化・吸収に働く
- ④消化酵素を含んでいる

18. 嚥下に伴う随意運動はどれか。(15-34-P70)

- ①軟口蓋挙上
- ②舌による食塊移送
- ③舌根の挙上
- ④食道の蠕動運動

19. 胃腺から分泌されないのはどれか。
(16-33-P79)

- ①ムチン
- ②ガストリン
- ③セクレチン
- ④ペプシノゲン

20. 意識的に排便を抑えるのはどれか。
(17-34-P75)

- ①陰部神経の興奮
- ②下腹神経の抑制
- ③横隔神経の興奮
- ④骨盤神経の興奮

21. 唾液に含まれる酵素はどれか。(18-35-P76)

- ①アミラーゼ
- ②ヌクレアーゼ
- ③ペプシン
- ④リパーゼ

22. 大腸について正しい記述はどれか。
(19-33-P75)

- ①大腸液は消化酵素を含まない。
- ②水分の約 80%が吸収される。
- ③蠕動運動は交感神経の活動によって促進される。
- ④大蠕動が起こらない。

23. 腸管からの吸収に際して胆汁酸と共にミセルを形成するのはどれか。(20-35-P87)

- ①脂肪酸
- ②アミノ酸
- ③ブドウ糖
- ④電解質

24. 小腸上皮から吸収後、中心乳び管に入るのはどれか。(22-35-P86)

- ①グルコース
- ②アミノ酸
- ③中性脂肪
- ④ビタミン B1

25. ホルモンとその効果器の組合せで正しいのはどれか。(23-31-P82.83)

- ①セクレチン — 肝 臓
- ②コレシストキニン — 胆 嚢
- ③ガストリン — 膵 臓
- ④エリスロポエチン — 腎 臓

26. 膵液の pH はどれか。(24-29-P80)

- ①弱アルカリ性
- ②中性
- ③弱酸性
- ④強酸性

27. ガストリンの胃に対する作用部位はどれか。
(25-30-P84)

- ①壁細胞
- ②主細胞
- ③粘液細胞
- ④平滑筋細胞

28. 摂食を抑制するのはどれか。(26-30-P89)

- ①グレリン
- ②オレキシン
- ③ロイコトリエン
- ④レプチン

29. 脂肪の消化に関与しないのはどれか。
(27-35-P77.82)

- ①胆汁分泌
- ②乳化作用
- ③リパーゼ分泌
- ④アミラーゼ分泌

1③、2③、3①、4②、5③、6①、7①、8④、9①、
10③、11②、12③、13②、14③、15④、16①、
17④、18②、19③、20①、21①、22①、23①、
24③、25②、26①、27①②④、28④、29④

消化器

病理学

1. 刺鍼により感染する危険のない疾患はどれか。
(6-50-P24)

- ① A型肝炎
- ② B型肝炎
- ③ C型肝炎
- ④ エイズ

2. 黒色の下血をきたした患者がいる。原因疾患はどれか。(7-53-P31)

- ① 直腸癌
- ② 潰瘍性大腸炎
- ③ 虫垂炎
- ④ 胃・十二指腸潰瘍

3. 肝臓の悪性腫瘍で誤っている記述はどれか。
(10-56-P47)

- ① 転移性腫瘍が多い。
- ② 原発性腫瘍の大部分は肝細胞癌である。
- ③ 中心性壊死は肝細胞癌の特徴である。
- ④ 日本人の肝細胞癌の大部分はC型肝炎ウイルスの持続感染がある。

4. 男性よりも女性に多い癌はどれか。
(17-51-P84)

- ① 膵臓癌
- ② 胆嚢癌
- ③ 肝臓癌
- ④ 食道癌

5. 吐血の患者で食道静脈瘤を認めた。最も考えられる原因はどれか。(19-47-P31)

- ① 肝硬変
- ② 肺うっ血
- ③ 腹膜炎
- ④ 心臓弁膜症

6. 扁平上皮癌が好発するのはどれか。
(22-49-P89)

- ① 食道
- ② 胃
- ③ 小腸
- ④ 大腸

7. 扁平上皮癌が最も発生しやすいのはどれか。
(27-44-P89)

- ① 舌
- ② 胃
- ③ 胆嚢
- ④ 膵臓

8. 腺癌の発生頻度が最も高いのはどれか。
(28-44-P90)

- ① 皮膚
- ② 舌
- ③ 子宮頸部
- ④ 膵臓

1①、2④、3③、4②、5①、6①、7①、8④

臨床医学総論

1. 慢性下痢を起こさない疾患はどれか。

(1-57-P211)

- ①過敏性腸症候群
- ②十二指腸潰瘍
- ③吸収不良症候群
- ④潰瘍性大腸炎

2. 高熱とともに右季肋部痛を訴える場合にまず疑うべき疾患はどれか。(1-63-P205)

- ①胃癌
- ②急性胆嚢炎
- ③脾癌
- ④大動脈瘤破裂

3. 疾患と痛みが放散する部位との組合せで誤っているのはどれか。(3-67-P203)

- ①胆石症——右肩
- ②尿管結石——鼠径部
- ③狭心症——左肩
- ④十二指腸潰瘍——右肩

4. 急性腹症を起こしにくい疾患はどれか。

(3-68-P203)

- ①胃潰瘍
- ②胆石症
- ③卵巣嚢腫
- ④子宮筋腫

5. 下痢を主訴としない疾患はどれか。

(8-60-P211)

- ①十二指腸憩室
- ②胃切除後症候群
- ③過敏性腸症候群
- ④潰瘍性大腸炎

6. 両手で触診する臓器はどれか。(10-66-P95)

- ①胃
- ②肝臓
- ③胆嚢
- ④腎臓

7. 腹水貯留の原因とならないのはどれか。

(12-58-P93)

- ①肝硬変
- ②腸閉塞
- ③うっ血性心不全
- ④ネフローゼ症候群

8. クールボアジェ徴候がみられるのはどれか。

(14-59-P95)

- ①食道癌
- ②胃癌
- ③肝細胞癌
- ④脾頭部癌

9. 疾患と痛みの放散部位との組合せで正しいのはどれか。(16-52-P203)

- ①胆石——左上肢
- ②胃潰瘍——鼠径部
- ③急性脾炎——左肩
- ④尿管結石——心窩部

10. 胸部の打診音と原因との組合せで正しいのはどれか。(16-54-P86)

- ①清音——胸水貯留
- ②濁音——気胸
- ③鼓音——胸膜炎
- ④過共鳴音——肺気腫

消化器

11. 肋骨脊柱角に叩打痛がみられるのはどれか。
(16-55-P99)

- ①慢性膵炎
- ②腎盂腎炎
- ③慢性胃炎
- ④急性肝炎

12. 食中毒の原因菌で激しい下痢を主症状としな
いのはどれか。(17-60-P211)

- ①腸炎ビブリオ
- ②ボツリヌス菌
- ③サルモネラ属
- ④ブドウ球菌

13. 黄疸をきたす疾患で尿中ビリルビンが上昇し
ないのはどれか。(18-56-P160)

- ①胆石症
- ②膵臓癌
- ③急性肝炎
- ④溶血性貧血

14. コーヒー残渣様の嘔吐がみられるのはどれ
か。(19-54-P260)

- ①クローン病
- ②胃 癌
- ③大腸癌
- ④潰瘍性大腸炎

15. 急性腹膜炎でみられる徴候はどれか。
(21-52-P93)

- ①ケルニツヒ徴候
- ②ブルンベルグ徴候
- ③ロンベルグ徴候
- ④バビンスキー徴候

16. 吐血の原因となるのはどれか。
(22-54-P256)

- ①大腸癌
- ②クローン病
- ③気管支拡張症
- ④胃潰瘍

17. 癌と腫瘍マーカーの組合せで最も適切なのは
どれか。(23-44-P180)

- ①肝細胞癌——HCG
- ②胃癌——CEA
- ③食道癌——CA19-9
- ④肺癌——PSA

18. 肝腫大の胸腹部打診所見はどれか。
(23-54-P85)

- ①濁音域の拡大
- ②清音域の拡大
- ③鼓音域の拡大
- ④過共鳴音域の拡大

19. 癌が最も転移しやすい臓器はどれか。
(24-44-癌転移)

- ①心臓
- ②脾臓
- ③肝臓
- ④腎臓

20. 腸閉塞に特徴的な聴診所見はどれか。
(25-48-P94)

- ①グル音
- ②捻髪音
- ③水泡音
- ④金属音

21. 吐血の原因となる疾患はどれか。

(25-52-P263)

- ①大腸憩室炎
- ②マロリー・ワイス症候群
- ③過敏性腸症候群
- ④急性膵炎

1②、2②、3④、4④、5①、6④、7②、8④、9③、
10④、11②、12②、13④、14②、15②、16④、
17①、18②、19③、20④、21②

第2章 消化器

【口腔疾患】

1. う歯について誤っているのはどれか。

(1-70-P23)

- ①微生物によって産出される酸が歯を脱灰する。
- ②食事中の糖の量に関係する。
- ③唾液の流出が少ないと、う歯になりやすい。
- ④C 1（1度）で痛みを生じる。

2. う歯の要因でないのはどれか。(9-78-P23)

- ①口腔内細菌
- ②食物
- ③歯の質
- ④年齢

3. 口腔内所見と疾患の組合せで正しいのはどれか。(23-57-P23)

- ①う 歯—悪性貧血
- ②アフタ性口内炎—潰瘍性大腸炎
- ③舌 炎—くる病
- ④口角炎—ビタミン A 欠乏症

4. 歯周病の増悪因子でないのはどれか。

(25-62-P21)

- ①喫煙
- ②舌炎
- ③妊娠
- ④糖尿病

【食道疾患】

1. 食道癌でみられないのはどれか。

(16-63-P24)

- ①嗝声
- ②嚥下性肺炎
- ③脾腫
- ④吐血

2. 「70 歳の男性。嚥下障害と体重減少で来院し、食道癌と診断された。さらに右眼瞼下垂と縮瞳が認められた。」本疾患について適切なのはどれか。(23-79-P24)

- ①腺癌が多い。
- ②中部食道に多い。
- ③化学療法は用いられない。
- ④予後は良い。

3. 「70 歳の男性。嚥下障害と体重減少で来院し、食道癌と診断された。さらに右眼瞼下垂と縮瞳が認められた。」本症例にみられる合併症はどれか。(23-80-P24)

- ①上大静脈症候群
- ②反回神経麻痺
- ③顔面神経麻痺
- ④ホルネル症候群

4. ホルネル症候群がみられやすいのはどれか。

(26-69-P24)

- ①食道癌
- ②胃癌
- ③大腸癌
- ④肝臓癌

5. 食道癌について正しいのはどれか。

(28-69-P24)

- ①腺癌に多い。
- ②若年者に多い。
- ③女性に多い。
- ④アルコールは危険因子である。

1③、2②、3④、4①、5④

【胃・十二指腸疾患】

1. ダンピング症候群を起こす原因はどれか。

(4-76-P29、30)

- ①胃切除
- ②過敏性腸症候群
- ③食道炎
- ④虫垂炎

2. 胃切除後症候群の症状でないのはどれか。

(7-74-P30)

- ①冷や汗
- ②腹痛
- ③下痢
- ④嚥下障害

3. 胃潰瘍について誤っている記述はどれか。

(17-69-P27)

- ①女性より男性に多い。
- ②好発部位は胃の大弯である。
- ③エックス線像でニッシュがみられる。
- ④ヘリコバクター・ピロリの感染と関係がある。

4. 胃切除術後のダンピング症候群の所見で誤っているのはどれか。(21-74-P30)

- ①冷 汗
- ②腹 痛
- ③高血糖
- ④下 痢

消化器

5. 「45 歳の男性。最近、心高部から背中 of 皮膚にかけて痛みが起きる。胸やけ、食欲不振もある。上部消化管内視鏡検査では、胃角部に潰瘍を認め、ヘリコバクター・ピロリの感染を疑った。」

本症例の背中 of 皮膚の痛みで最も適切なのはどれか。(25-79-P27)

- ①空腹時に起こる。
- ②関連痛である。
- ③体性痛である。
- ④内臓痛である。

6. 「45 歳の男性。最近、心高部から背中 of 皮膚にかけて痛みが起きる。胸やけ、食欲不振もある。上部消化管内視鏡検査では、胃角部に潰瘍を認め、ヘリコバクター・ピロリの感染を疑った。」

ヘリコバクター・ピロリの検査はどれか。(25-80-P27)

- ①尿素呼気検査
- ②胃液測定
- ③尿沈渣検査
- ④血清ペプシノーゲン測定

【腸疾患】

1. 腸閉塞症について誤っている組合せはどれか。(2-82-P37)

- ①閉塞性腸閉塞——糞塊
- ②絞扼性腸閉塞——腸捻転
- ③麻痺性腸閉塞——下痢
- ④腸重積——血便

2. 過敏性腸症候群について正しい記述はどれか。(3-78-P34)

- ①下血をみることが多い。
- ②便秘と下痢とを繰り返すタイプがある。
- ③発熱を繰り返す。
- ④ストレスとは無関係である。

3. 下痢の原因疾患でないのはどれか。(7-75-P35)

- ①過敏性腸症候群
- ②大腸炎
- ③虫垂炎
- ④クローン病

4. 疾患と原因との組合せで正しいのはどれか。(14-67-P38)

- ①マロリーワイス症候群——喫 煙
- ②潰瘍性大腸炎——ヘリコバクターピロリ菌
- ③過敏性腸症候群——免疫異常
- ④ポイツ・イエガース症候群——遺 伝

5. クローン病の合併症はどれか。(15-72-P33)

- ①巨大舌
- ②唾液減少
- ③手掌紅斑
- ④痔瘻

1①、2④、3②、4③、5②、6①

6. 潰瘍性大腸炎の特徴でないのはどれか。

(18-75-P32)

- ①粘血便
- ②敷石状病変
- ③全周性潰瘍
- ④中毒性巨大結腸

7. 麻痺性イレウスの症状で誤っているのはどれか。(19-66-P37)

- ①嘔 吐
- ②腹 痛
- ③下 痢
- ④膨満感

8. 癌と腫瘍マーカーとの組合せで正しいのはどれか。(20-65-P333)

- ①大腸癌 ——— CEA
- ②子宮体癌——— SCC
- ③胃 癌 ——— CYFRA
- ④乳 癌 ——— AFP

9. 潰瘍性大腸炎の合併症でないのはどれか。

(20-66-P32)

- ①口腔内アフタ
- ②ブドウ膜炎
- ③結節性紅斑
- ④痔瘻

10. 過敏性腸症候群でよくみられるのはどれか。

(24-70-P34)

- ①発熱
- ②嘔吐
- ③下痢
- ④血便

11. 脱水を起こしやすいのはどれか。

(24-71-P37)

- ①腸閉塞
- ②大腸ポリープ
- ③胃下垂
- ④食道憩室

12. 痔瘻を合併しやすいのはどれか。

(25-69-P33)

- ①過敏性腸症候群
- ②急性細菌性腸炎
- ③潰瘍性大腸炎
- ④クローン病

13. 潰瘍性大腸炎の特徴で正しいのはどれか。

(28-70-P32)

- ①大腸壁の全層に炎症を起こす。
- ②痔瘻合併の頻度が高い。
- ③直腸から口側へと病変が連続する。
- ④回盲部に好発する。

1③、2②、3③、4④、5④、6②、7③、8①、
9④、10③、11①、12④、13③

消化器

第3章 肝・胆・膵

【肝臓疾患】

1. 正しいのはどれか。(1-73-P42)

- ① A型肝炎は細菌の感染による。
- ② B型肝炎は血液を介して感染する。
- ③ 急性膵炎では血清アミラーゼ値が下降する。
- ④ 胆石は水に溶解しやすい。

2. 肝硬変で誤っているのはどれか。

(1-74-P47)

- ① 肝が肥大する。
- ② 食道静脈瘤を生じる。
- ③ 手掌紅斑を生じる。
- ④ 腹水を生じる。

3. 肝性昏睡にみられない症状はどれか。

(2-81-P47)

- ① はばたき振戦
- ② 傾眠傾向
- ③ アンモニア口臭
- ④ 下肢対麻痺

4. 最も治りやすい肝炎はどれか。(2-83-P42)

- ① A型肝炎
- ② B型肝炎
- ③ C型肝炎
- ④ 劇症肝炎

5. 肝炎について正しい記述はどれか。

(3-79-P42)

- ① A型肝炎は慢性化しやすい。
- ② 急性B型肝炎は慢性化しやすい。
- ③ C型肝炎は慢性化しやすい。
- ④ A型肝炎は輸血で起こりやすい。

6. C型肝炎で適切でない記述はどれか。

(6-77-P42)

- ① 経口感染する。
- ② 食欲不振がある。
- ③ 肝腫大がある。
- ④ 肝硬変に移行しやすい。

7. A型肝炎について誤っているのはどれか。

(9-80-P42)

- ① ワクチンにより予防できる。
- ② 集団発生を起こす。
- ③ 劇症化しやすい。
- ④ 経口感染する。

8. 肝硬変の症状でないのはどれか。

(10-79-P47)

- ① 皮膚線条
- ② 手掌紅斑
- ③ メズサの頭
- ④ クモ状血管腫

9. 疾患と危険因子との組合せで正しいのはどれか。(11-79-P49)

- ① 肝細胞癌——ウイルス感染
- ② 喉頭癌——細菌感染
- ③ 大腸癌——高繊維食摂取
- ④ 肺癌——飲酒

10. 「施術後、患者の血液に付いた鍼を廃棄する時に誤って施術者の指に刺さった」

鍼刺し事故後、感染率が最も高いのはどれか。

(14-78-P42)

- ① 成人T細胞白血病
- ② B型肝炎
- ③ C型肝炎
- ④ HIV感染症

11. 「施術後、患者の血液に付いた鍼を廃棄する時に誤って施術者の指に刺さった」

HB ウイルス陽性患者であった場合の対応で最も適切なものはどれか。(14-79-P42)

- ①穿刺部位のアルコール消毒
- ②抗生物質の投与
- ③HB ワクチン投与
- ④抗 HB 免疫グロブリン投与

12. 「施術後、患者の血液に付いた鍼を廃棄する時に誤って施術者の指に刺さった」

誤刺および感染を回避する方法として適切でないのはどれか。(14-80-P44)

- ①単回(1回)使用毫鍼を使用する
- ②施術には指サックを使用する
- ③手指の消毒には 20g%(体積百分率)イソプロピルアルコールを用いる
- ④使用後の鍼は感染廃棄物として専用容器に捨てる

13. C型急性肝炎について正しい記述はどれか。(15-73-P42)

- ①経口感染である
- ②高熱がみられる
- ③慢性化はない
- ④劇症化はまれである

14. B型肝炎について正しい記述はどれか。(16-64-P42)

- ①成人の初感染は慢性化しやすい。
- ②HB e 抗原陽性では感染力が弱い。
- ③垂直感染がみられる。
- ④慢性肝炎からは肝硬変に進展しにくい。

15. ウイルス性肝炎に関して正しい記述はどれか。(18-68-P42)

- ①A型は輸血で感染する。
- ②B型はDNAウイルスによる。
- ③C型はワクチンで予防できる。
- ④E型は慢性化しやすい。

16. 「60歳の男性。軽度呼吸困難で来院。腹部膨満と女性化乳房とがみられ、上部消化管内視鏡検査で食道・胃静脈瘤を認める。血液検査で血小板と白血球に減少が認められ、C型肝炎ウイルス陽性であった。」

この疾患で血小板減少をきたす原因となる病変臓器はどれか。(18-77-P47)

- ①肺
- ②肝臓
- ③脾臓
- ④腎臓

17. 「60歳の男性。軽度呼吸困難で来院。腹部膨満と女性化乳房とがみられ、上部消化管内視鏡検査で食道・胃静脈瘤を認める。血液検査で血小板と白血球に減少が認められ、C型肝炎ウイルス陽性であった。」

この疾患に合併する悪性腫瘍の早期発見に有用な腫瘍マーカーはどれか。(18-78-P333)

- ①AFP
- ②CEA
- ③CA19-9
- ④PSA

消化器

18. 「26 歳の男性。全身倦怠感を主訴に来院した。視診上、黄疸を認め、ウイルスマーカー検査では IgM-HA 抗体陽性、HB s 抗原陰性、HCV - RNA 陰性であった。」

感染の原因として最も考えられるのはどれか。

(22-77-P42)

- ①ハンバーガー
- ②いずし
- ③生ガキ
- ④鶏生肉

19. 「26 歳の男性。全身倦怠感を主訴に来院した。視診上、黄疸を認め、ウイルスマーカー検査では IgM-HA 抗体陽性、HB s 抗原陰性、HCV - RNA 陰性であった。」

本疾患で正しいのはどれか。(22-78-P43)

- ①発熱を前駆症状として発症する
- ②インターフェロン療法が有効である
- ③慢性化する
- ④輸血によっても発症する

20. 急性ウイルス性肝炎で正しいのはどれか。

(24-57-P42)

- ①A 型肝炎では発熱がよくみられる。
- ②B 型肝炎では垂直感染はみられない。
- ③C 型肝炎では劇症化することが多い。
- ④E 型肝炎では生鮮魚介類摂取が原因となることが多い。

21. 「50 歳の男性。大酒家である。軽度の意識障害で受診した。眼球の黄染、胸部のクモ状血管拡張と著明な腹水がみられた。また、上肢の不規則な運動が認められた。」本症例でみられる上肢の

所見はどれか。(24-79-P47)

- ①けいれん
- ②バリスム
- ③アテトーゼ
- ④振戦

22. 「50 歳の男性。大酒家である。軽度の意識障害で受診した。眼球の黄染、胸部のクモ状血管拡張と著明な腹水がみられた。また、上肢の不規則な運動が認められた。」

本疾患でよくみられる合併症はどれか。

(24-80-P47)

- ①大動脈癌
- ②食道静脈癌
- ③マロリーワイス症候群
- ④大腸憩室炎

23. 脂肪肝に関係ないのはどれか。(26-63-P50)

- ①肥満
- ②糖尿病
- ③肝硬変
- ④胆嚢ポリープ

24. 肝炎の感染経路で正しいのはどれか。

(27-71-P42)

- ①A 型肝炎は血液で感染する。
- ②B 型肝炎は性行為で感染する。
- ③C 型肝炎は生鮮魚介類の摂取で感染する。
- ④E 型肝炎は母子感染する。

25. ウイルス性肝炎と感染経路の組合せで正しいのはどれか。(28-71-P42)

- ①A 型——血液への曝露
- ②B 型——性行為
- ③C 型——獣肉摂取
- ④E 型——生鮮魚介類摂取

26. 「35 歳の女性看護師。皮膚の黄染、全身倦怠感にて受診。針刺しの既往がある。肝炎ウイルスマーカーでは、HCV 抗体陽性、HCV-RNA 陽性で、他は陰性であった。」

本疾患について正しいのはどれか。(28-75-P42)

- ①生ガキの接種で起こる。
- ②慢性化の頻度が高い。
- ③劇症肝炎へ進展しやすい。
- ④ワクチン予防が可能である。

27. 「35 歳の女性看護師。皮膚の黄染、全身倦怠感にて受診。針刺しの既往がある。肝炎ウイルスマーカーでは、HCV 抗体陽性、HCV-RNA 陽性で、他は陰性であった。」

本疾患に合併する悪性腫瘍で上昇する腫瘍マーカーはどれか。(28-76-P42)

- ①CA125
- ②SCC
- ③CEA
- ④AFP

1②、2①、3④、4①、5③、6①、7③、8①、9①、10②、11④、12③、13④、14③、15②、16③、17①、18③、19①、20①、21④、22②、23④、24②、25②、26②、27④

【胆道疾患】

1. 胆石症で適切でないのはどれか。
(6-75-P51)

- ①コレステロール結石
- ②ビリルビン結石
- ③アルカリフォスファターゼ値低下
- ④黄疸

2. 40 歳の肥満女性。右季肋部の疝痛と発熱、黄疸が認められた。最も考えられるのはどれか。
(14-68-P52)

- ①膵尾部癌
- ②総胆管結石
- ③腎結石
- ④肝硬変

3. 「55 歳の女性。夕食にてんぷらを摂取後、悪心、嘔吐、右季肋部痛が出現し、救急外来を受診した。血液検査データで白血球数 $19,500/\mu\text{l}$ 、CRP 高値、赤沈亢進を認めた。」

本患者で予測される所見はどれか。(21-77-P51)

- ①視診で皮膚線条が見られる。
- ②聴診で血管雑音が聴取される。
- ③打診で肋骨脊柱角に叩打痛がある。
- ④触診で筋性防御が見られる。

4. 「55 歳の女性。夕食にてんぷらを摂取後、悪心、嘔吐、右季肋部痛が出現し、救急外来を受診した。血液検査データで白血球数 $19,500/\mu\text{l}$ 、CRP 高値、赤沈亢進を認めた。」

本患者でまず行う検査はどれか。(21-78-P51)

- ①腹部超音波検査
- ②消化管内視鏡検査
- ③血管造影検査
- ④PET (ポジトロン CT)検査

消化器

5. 胆嚢癌について正しいのはどれか。
(23-55-P52)

- ①女性に多い。
- ②胆石の合併は少ない。
- ③左季肋部痛が多い。
- ④AFPの上昇がみられる。

1③、2②、3④、4①、5①

【膵臓疾患】

1. 急性膵炎で誤っている記述はどれか。
(2-84-P54)

- ①飲酒家に多い。
- ②血清アミラーゼ値が下降する。
- ③尿中アミラーゼ値が上昇する。
- ④激的な心窩部痛がある。

2. 膵臓癌で適切でない記述はどれか。
(6-76-P55)

- ①体重減少がある。
- ②食欲不振がある。
- ③心窩部痛を起こしやすい。
- ④血清アミラーゼ値が低下する。

3. 疾患と検査との組合せで誤っているのはどれか。(8-75-P54)

- ①胆石症——超音波検査
- ②急性膵炎——内視鏡検査
- ③大腸癌——便潜血反応
- ④肝癌——C T 検査

4. 膵癌について誤っている記述はどれか。
(13-78-P55)

- ①膵腺房細胞から発生することが多い。
- ②高齢の男性に多い。
- ③血清腫瘍マーカーとしてC A 19-9 を用いる。
- ④膵頭部癌では閉塞性黄疸をきたしやすい。

5. 膵管上皮由来の膵臓癌でみられないのはどれか。(15-74-P55)

- ①黄疸
- ②背部痛
- ③低血糖
- ④C E A 陽性

6. 慢性膵炎で正しい記述はどれか。

(21-62-P55)

- ①胆石によるものが多い。
- ②便秘が多い。
- ③腹部超音波検査で石灰化像がみられる。
- ④病初期より糖尿病が発症する。

7. 膵癌について正しいのはどれか。

(22-62-P55)

- ①膵体部に好発する
- ②内分泌腫瘍が多い
- ③膵尾部癌では早期に症状が現れる
- ④CA19-9 は診断的価値が高い

8. 急性膵炎の原因で最も多いのはどれか。

(27-70-P54)

- ①胆石
- ②アルコール多飲
- ③脂質異常症
- ④膵癌

1②、2④、3②、4①、5③、6③、7④、8②

消化器

東洋医学臨床論

【西洋】

1. 急性胃炎の患者に対し脊髄分節を考慮して刺激する場合、適切でない経穴はどれか。

(5-135-P51)

- ①鳩尾
- ②梁門
- ③中脘
- ④腹結

2. 「21歳の女性。最近、食思不振や発熱があり、次第に血便や腹痛を伴うようになった。痔瘻はない。内視鏡検査で縦走潰瘍、敷石状病変はみられなかった。普段から寒がりで、冷たいものを飲食すると下痢が出現しやすい。手足が冷え、腰がだるい。舌質は淡白、脈は細くて弱い。」診断として最も考えられるのはどれか。

(18-連続問題 137 -P59)

- ①潰瘍性大腸炎
- ②クローン病
- ③過敏性腸症候群
- ④大腸ポリープ

3. 次の文で示す患者に対する治療方針で最も適切なものはどれか。

「21歳の女性。2カ月前から就職活動がうまくいかず、腹部膨満感がある。食後すぐに便意を催し、1日に5回以上の水様性下痢が続く。病院での検査所見では異常は見られなかった。」

(20-131-P59)

- ①迷走神経の機能抑制
- ②大内臓神経の機能抑制
- ③内臓知覚神経の機能亢進
- ④腸骨下腹神経の機能亢進

4. 胃痛に対して行う低周波鍼通電療法で、デルマトームを応用した経穴の組合せとして正しいのはどれか。(24-21-P51)

- ①三焦兪一腎兪
- ②膈兪一肝兪
- ③玉枕一天柱
- ④大杼一肺兪

1④、2①、3②、4②

【東洋】

1. 次の文で示す患者の治療対象となる経絡はどれか。「40歳の男性。2か月前から胃の膨満感、食欲不振および軟便があり、下腿内側で脛骨の際に沿って陥凹がみられる。」(2-131-P58)

- ①手の厥陰心包経
- ②手の陽明大腸経
- ③足の太陰脾経
- ④足の少陰腎経

2. 古くから行われている食あたりに対する灸治療はどれか。(3-132-P58)

- ①ちりげの灸
- ②腰部八点灸
- ③患門の穴の灸
- ④裏内庭の灸

3. 次の文で示す病証に対する治療方針で適切なものはどれか。「空腹感はあるが食欲がない。口が乾くが飲みたがらない。ときおり乾嘔（からえずき）し、便秘がある。脈は細数。」(6-134-P58)

- ①脾胃を補う。
- ②肝胆を補う。
- ③肺大腸を瀉す。
- ④腎膀胱を瀉す。

4. 次の文で示す患者の病証に対し、治療対象となる経絡はどれか。「35歳の女性。約1か月前から食欲不振となり軟便がある。やせ型で内臓下垂がみられる。」(9-128-P58)

- ①手の太陽小腸経
- ②手の陽明大腸経
- ③足の太陰脾経
- ④足の厥陰肝経

5. 次の文で示す患者の病証に対し、難経六十九難に基づいた治療穴はどれか。「50歳の女性。食欲不振があり、下痢しやすい。精神疲労と無力感がある。舌質淡、脈は沈細。」(11-128-P58)

- ①曲泉・陰谷
- ②少府・大都
- ③太淵・太白
- ④復溜・経渠

6. 胃腸疾患に対し、身体部位に基づく配穴法と経穴との組み合わせで誤っているのはどれか。(14-131-P58)

- ①同経配穴---天枢・太白
- ②前後配穴---中脘・胃脘
- ③表裏配穴---足三里・公孫
- ④上下配穴---内関・足三里

7. 次の文で患者の病証に対し、適切な治療方針はどれか。

「40歳の男性。えびを食べたところ発疹が現われた。発疹は赤みを帯び膨隆もみられる。舌質は紅。舌苔は黄膩。脈は滑数。」(17-121-P58)

- ①風寒を除く
- ②湿熱を除く
- ③血を補う
- ④津液を補う

8. 次の文で示す患者の病証に対し、適切な治療方針はどれか。

「50歳の女性。3ヶ月前から空腹感はあるが食欲がない。口は渇くが水を飲みたがらない。舌質は紅。無苔。脈は細数。」(17-122-P58)

- ①肝血を補う
- ②心陽を補う
- ③肺気を補う
- ④胃陰を補う

消化器

9. 「21 歳の女性。最近、食思不振や発熱があり、次第に血便や腹痛を伴うようになった。痔瘻はない。内視鏡検査で縦走潰瘍、敷石状病変はみられなかった。普段から寒がりで、冷たいものを飲食すると下痢が出現しやすい。手足が冷え、腰がだるい。舌質は淡白、脈は細くて弱い。」
東洋医学からみた病証として適切なのはどれか。
(18-連続問題 138-P58)

- ①肝血虚証
- ②心陰虚証
- ③脾陽虚証
- ④肺気虚証

10. 消穀善飢を伴う消渴病の食事療法について、最も摂取を控えなければならない味はどれか。
(23-128-P58)

- ①酸 味
- ②苦 味
- ③甘 味
- ④辛 味

11. 「42 歳の男性。腹痛、腹部膨満感、食欲不振、軟便が 2 か月続いている。近医の診察で機能的胃腸症と言われた。ストレスが多い仕事に就いている。強いストレスがかかると症状が増悪する。舌苔は白膩。脈は弦。」
最も適切な病証はどれか。(24-137-P58)

- ①脾胃の病証
- ②脾腎の病証
- ③肝胃の病証
- ④肝脾の病証

12. 「42 歳の男性。腹痛、腹部膨満感、食欲不振、軟便が 2 か月続いている。近医の診察で機能的胃腸症と言われた。ストレスが多い仕事に就いている。強いストレスがかかると症状が増悪する。舌苔は白膩。脈は弦。」本患者の腹痛の性質はどれか。(24-138-P58)

- ①隠痛
- ②脹痛
- ③刺痛
- ④酸痛

13. 次の文で示す患者の病証に対する治療穴で最も適切なのはどれか。

「65 歳の男性。1 週間前に食べ過ぎて胃のもたれ感の後、右上の奥の歯茎が腫れて痛むようになってきた。腹診では上腹部に緊張と熱感がみられ、右関上の脈は滑数。舌質はやや紅、中央に黄厚膩苔。」(26-116-P58)

- ①腎経の栄火穴
- ②胃経の栄水穴
- ③大腸経の栄水穴
- ④脾経の栄火穴

1③、2④、3①、4③、5②、6①、7②、8④、
9③、10③、11④、12②、13②